

TALK WORKSHOP MEETING

アートで多文化社会を考える
~移民社会オーストラリアからゲストを迎えて~

参加料
無料

ゆるゆるアイデンティティ

自分はどこからきて、いったい何者なのか。
思春期の時に、また、進学、就職、結婚等でふるさとを離れ暮らす経験などから、
誰もが一度は感じたことがある、ゆるゆるアイデンティティ。
アート、移民、暮らしなどの切り口からアーティストと一緒に考える2日間です。

2019 **4.20**(sat) **21**(sun)

会場：浜松市鴨江アートセンター



お問い合わせ：浜松市鴨江アートセンター (TEL:053-458-5360 / E-mail:k.a.c@kanoartcenter.org)・浜松国際交流協会 (HICE) (TEL:053-458-2170 / E-mail:info@h-ice.jp)

主催：浜松国際交流協会 (HICE)、モナッシュ大学、浜松市鴨江アートセンター (指定管理者：浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ) / 共催：浜松ロータリークラブ / 後援：浜松市、自治体国際化協会 (CLAIR)



アートで多文化社会を考える ~移民社会オーストラリアからゲストを迎えて~

ゆれるアイデンティティ

TALK

20日(土) OPEN 12:15 START 12:45

定員:70名(申込優先・当日席あり)

● ジャン・モロイ

イミグレーション・ミュージアムの活動紹介・文化表現を通じた多様性の促進に焦点をあてて
進行:モナシュ大学 岩淵功一

1

● アリス・ブン×ロビンス・さより

アリス・ブン:「エスニックマイノリティの若者たちの自己エンパワメントおよび社会の多様性を奨励することについて」
ロビンス・さより:「浜松で外国ルーツを持つ人が暮らすこととは」

WORKSHOP

定員:20名(要申込・先着順)

ファシリテーター:ロビンス・さより(ミュー・ワークショップ)

3 つくろう!新しいカードゲーム

20日(土) 15:30~

今までのゲームにないルールを考えて
オリジナルカードゲームを参加者みんなで発明しよう。
どうなったら勝ちで、どうなったら負けか。
果たしてゲームは成立するか?最後はみんなで遊んでみましょう。

WORKSHOP

定員:20名(要申込・先着順)

ファシリテーター:アリス・ブン

2 アリス・ブン ワークショップ

20日(土) 15:30~

カンボジア生まれの両親を持つ作家のアリスさんとの会話を通じて、
アイデンティティについて考え、自身を、
そして周りを見つめるワークショップ。

20日(土) ワークショップ終了後

LET'S PARTY! 外国ルーツの若者たちのあつまりの場

参加自由・お菓子付き
企画:COLORS

WORKSHOP

申込不要

企画:乾久子(美術家)

4 くじびきドローイング

20日(土) 12:15~18:00、21日(日) 10:00~18:00

まず、くじを引いて、そこに書かれたお題に沿って絵を描きます。絵を描いたら今度はくじのお題を作る番。音楽と絵のリレーです。
人と人は永遠にわかりあえない、でもわかりあえないということに気が付くことであたらしい喜びに出会うこともあります。
くじに書かれた言葉は運命。その運命を受け入れてどのように描くかはあなた次第。
そして自分のくじがどこかの誰かによって絵になるとき、それはどんな風に描かれるのでしょうか。

*20日(土) 15:30~ 企画者の乾久子さん(美術家)が会場、くじびきドローイングについてお話しが聴けます。

WORKSHOP

定員:30名(要申込・先着順)

ファシリテーター:植野聡子

5 まちづくりワークショップ

21日(日) 10:00~18:00 *10:00~15:30 ワークショップ、16:00~18:00 表彰タイム・ミニパーティー

初めて会った人と一緒にまちを歩いたら、見慣れた街の風景にも新しい発見があるかもしれません。
参加者それぞれが街の案内人、ツアー客になりながら、街を歩き、それぞれの発見を描き込んだ地図をつくってみましょう!

*ワークショップ終了後、浜松グランドホテルにて浜松ロータリークラブによる審査結果発表と表彰タイム・ミニパーティーあり
*街歩きがあります。小学生以下は保護者同伴でご参加ください。

今、浜松には80か国以上の方が暮らしていることをあなたは知っていますか?ふと考えてみると、ご近所さんに、学校のお友達に、職場の同僚に、よく行くコンビニの店員さんに…すでにいろいろな外国人の方がいますよね。結婚や進学、仕事をきっかけに出身地ではないこの地で暮らす人、そしてここで生まれ育った外国にルーツを持つ子どもや若者が暮らしています。浜松はすでに多文化なまちなのです。

今回は、移民社会オーストラリアから、移民ルーツのアーティストの方などをお迎えします。移民博物館や学校でのアートによる取り組みの紹介のほか、浜松に住む国際結婚の家族とのトークや、アーティストによるアイデンティティを考えるワークショップなどをおこないます。まちづくりワークショップとして街歩きをし、コンテスト&表彰もおこないます!

ジャン・モロイ Jan Molloy



イミグレーション・ミュージアム(メルボルン)プログラムのコーディネーター。学校教員としての30年以上のキャリアを持つ。また同地のキュー・高等学校のリーダーシップ・チームの一員として教員のプロフェッショナル・ラーニング・プログラムや、新しいカリキュラムの実践に携わる。2015年からは、モナシュ大学とも連携し、「フロム・アジア・リテラシー・トゥー・オーストラリア・リテラシー」セッションのコーディネーターを担当する。

岩淵 功一 Koichi Iwabuchi



オーストラリア、モナシュ大学教授。専門はメディアおよびカルチュラル・スタディーズ。主な関心テーマは、トランスアジア文化連携、多文化主義、文化市民性など。日本のテレビ局で勤務後、オーストラリアにて博士号取得。ICU、早稲田大学を経て、2012年より現職。社会における文化多様性の促進に向けて、メルボルンのイミグレーション・ミュージアムと協働するとともに、東アジアの多文化表現実践を奨励するプロジェクト「TEAM プロジェクト (Trans-East-Asia Multiculturalism)」も主宰。

アリス・ブン Alice Pung



メルボルン在住。作家、ジャーナリスト、弁護士。著書 Unpolished Gem Her Father's Daughter and Laurinda は、翻訳され国際的に出版されている。Peking University, Brown University, Vassar College(US), the University of Bologna and The University of Milan(Italy) にゲスト講師として招かれる。メルボルンの Writers' Festival において、イミグレーション・ミュージアムの学校とのエンゲージメントプログラムに携わる。両親はカンボジア生まれで自身はオーストラリア生まれ。

イミグレーション・ミュージアムとは

オーストラリア・メルボルンにある観光名所の一つ。オーストラリアの移民の歴史について学べる。アイデンティティに関する常設展示のほか、アウトリーチプログラムとして、学校など移民ルーツのアーティストによるワークショップなども実施するなど、交流機会も提供している。

お申し込み・お問い合わせ

*2019.3.15FRI 9:00~受付開始

*ご希望のトーク・ワークショップ等の番号、氏名、ふりがな、電話番号、学年(学生の場合)*を添えて、浜松市鴨江アートセンターまたは浜松国際交流協会(HICE)までEメールまたは電話でお申し込みください。

● 浜松市鴨江アートセンター

TEL:053-458-5360 / E-mail:k.a.c.@kamoeartcenter.org

● 浜松国際交流協会(HICE)

TEL:053-458-2170 / E-mail:info@hi-hice.jp

*当日の会場内の写真が主催者等のウェブサイト・SNSなどに掲載されることがあります。

ロビンス・さより Sayori Robbins (ミュー・ワークショップ)



浜松市出身。米國滞在、国際結婚を経て2012年ミュー・ワークショップを設立。自分の住みたいまち実現のために多様な人・物事に手当たり次第興味を持ち、身の回りの多文化化を実践中。

ミュー・ワークショップ workshopとは、本来「作業場」や「工房」を意味するが、現代においては参加者が経験や作業を披露したりディスカッションをしながら、スキルを伸ばす場の意味を持つ。スタジオグリーンポイント内個室にて赤ちゃんからシニア、多様な人々が集まり交流を深められる場。英語ワーク、こどものせいかい前講座、その他絵巻、実践、環境くらぶなど不定期開催。

乾久子 Hisako Inui



美術家。1983年東京学芸大学大学院修士課程修了。美術史を専攻していたが、1990年代より現代美術の制作・発表を始める。主な個展に、「乾久子展 STAY IN REALITY」(金座ボタナカ / 静岡 / 2017)、「線・集積するものたちへ」(ギャラリーマンターノドイツ / 2005)他多数。主なグループ展に、「原風景」(東京都美術館 / 2018)他多数。2008年、コミュニケーションをテーマとし社会と美術をつなげる作品として、くじびきドローイングワークショップを発売。全国各地で、くじびきドローイングワークショップを開催。

植野 聡子 Satoko Ueno (ファシリテーター / メディアプロジェクト・アンテナ)



静岡県伊東市出身。静岡文化芸術大学空間造形学卒業、同大学院デザイン研究科修了。大学院修了後にメディアプロジェクト・アンテナのメンバーとして、教育やワークショップを通じ地域社会のあり方を探る。2014年7月、10cm角あたり100円からお店が開けるシェアショップ「ニューショップ浜松」をオープン。また、フリーランスとしてまちづくりに関する企画や編集、マネジメントなどに携わる。2016年より「鍛冶町アクティビティセンター」のファシリテーター。

会場: 浜松市鴨江アートセンター

静岡県浜松市中区鴨江町1番地



*浜松駅から徒歩15分。
*駐車スペースはございませんので、有料の駐車場をご利用ください。